年頭に際して

助役　小坂直司

明けましておめでとう御座います。年頭に際して心から皆様の御多幸を祈ります

○　○　○

さて昭和三十四年をむかえるに当つて、なにかを書くように広報の編集っ子から頼まれたが、限られたスペースで要を尽すことは困難であります。従って、日頃感じあるいは、考えているものの中から二、三を拾って簡けつに述べて見たいと思います。

その一つは昨年末の不正容疑事件であります。

新年早々縁起でもない話ではありますが、兎角世上をお騒せしたことでもありますので好むと好まざるとに係らず一言市民の皆様にお詫びとお願いを申述べなければならないと思います

事件は検察当局で審理中であるので、明言の段階ではありませんが、私共確信をもって市民の皆様にいえますことは「市民の公僕として、市と市民の利益のためにのみ努力している」ということであります。

世評或は人倫にもとるかの如き誤解を抱きしめているふしもないではないように思いますが、これは大きな禍ちであり、深く遺憾とするところであります。市民の皆様におかれましては誤った判断に煽動、或は動揺することのないよう理解ある態度で冷静にお考え頂きたいと希う次第であります

この度の事件は告発によるものでありますが、その結果はどうありましても市が、市民が受ける不利益は直接、間接にまぬがれないことで全く遺憾というほかありません、告発への疑惑をもたしめたとすれば、それは私どもの不覚のいたすところで深く反省するところでありますが仮りにも嫁が憎くけや……何んとか、というような物の考え方から、市や市民の多くに迷惑をかけるようなことがあるとすれば、大館市将来の発展のために憂うべきことだと思います。

いづれ事件が解決すれば明言の機会があるとも考えますが、個人の不正などはあろう筈がないのでありますから皆様の善意ある御理解をお願いする次第であります。

○　○　○

新年度に臨むに当って考え或は希望することとしては、やはり助役としての立場から、市民のサービスセンターとしての市役所を仕事を通じ、人を通じて一体化し、より効果的、合理的にその機能を高めたいということであります。

いうまでもなく市役所は地方自治体の執行機関として、その行政を通して市民の福利を増進することにありますからいつの場合でも職員は、市長を中心として一体でなければ行政の機能を充分に発揮することができないのであります。全職員にこの点を深く認識していただくと同時に、和をもってその職責が全うされるよう努力したいと思います

市職員に対してではありますが、今年は地方選挙の年でありますが、補助機関の職員であるという自覚の上に立って、動揺することなく市民サービスの全うを期してもらうことは勿論であるが、また事務処理の点についても一層研さんを積まれ、無理のない着実な処理をされるよう特に希望します。

以上申述べたことがらはごく当りまえの事ではありますが、市民サービスの根本でもあるので、機構の面或は人の面を通じて更に改善し、行政がより能率的、効果的に行われるよう、補助機関としての質的向上を図るよう努力して行く所存であります。

今後とも市民の皆様の理解ある御協力を切にお願いする次第であります。

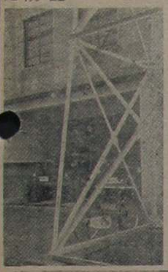
昭和33年 新市の建設をかえりみる

◇……新市の建設が、どのように進められているかは、市民の全部が知っていなければならないこと……◇
◇……だ。そこで、昭和三十三年度予算編成の当初、これに見込まれた主な事業と重要施策について……◇
◇……九カ月間の実績や経過を振りかえってみることにした。云うまでもなく市の予算は会計年度（……◇
◇……四月から翌年三月）であるので、いま、これによる仕事をみようとしても中間報告の域を出な……◇
◇……いのであるが、現在までの成果や今後の見通しといったものをみることも意義あることだと思う……◇

消防

①長木川北部市街地および長木、釈迦内方面の消防態勢を整備するための市消防署北出張所は五月に着手、十月で完成をみた。ブロツク造り二階建四四平方米（四十八坪）望楼一基、無線機一局を装備している。

出張所には二台の消防車を配置し四名の消防職員を常設した



②合併地域に対する新市消防五カ年計画を一年繰り上げ可搬式ガソリンポンプ十四台を新規購入配備したほか板沢、板子石、商人留、下岱野の四カ所にブロツク式築造法による貯水槽を建造した。

③消防自動車一台を新規購入第五分団に配置した。

④川口にホース乾燥場を新設した。

⑤東京都日本損害保償協会から消防ポンプ車"損保号"の寄贈を受け六月二十六日入魂式を行った。

（写真は新設された北出張所）

土木・建築

①大滝、軽井沢地区の観光地開発をめざし、二カ年の継続事業として三十二年四月から工事を進めていた大滝は鉄筋コンクリートの見事な永久橋として完成、七月五日華やかに渡り初の式を行った。橋長一〇〇・四米巾員五米、事業費は二千百万円。

②三十一年十月の豪雨出水で流失した二井田大橋の永久橋架替工事は三十二、三十三年度の二カ年継続事業として工事が進められていたが十二月遂に完成した。橋長三〇〇米巾員四・五米、工事費二千三百万円。

③火災復興は順調に進行

④ダンプカーを一台新規購入現有四台と砂利採取機二台により道路補修に努めた。

⑤花輪線立体交叉（宗福寺線街路整備事業）は県工場、二カ年継続事業として、本年度第一期工事が進められている。

⑥市営球場は八月に行った復興祭行事に間に合わせ、スタンド、外壁の整備を行った。

⑦道路新設中山―曲田線、獅子ケ森―上岱野線は測量を完了年度内に着手の手筈となっている。館西線は三十一年度からの継続事業として、失対事業で実施していたが三十三年度を以って完了される。

⑧田代町地内の舗装工事は県工事として行われるが、土地の買収、建物移転など拡巾のため経費は市が負担することになるので、土地関係者との了解のつき次第拡巾を進めているので、三十四年度には舗装できる見透しとなった。道路の巾員は十一米、舗装巾員は九米である。

⑨十二所に保育園を新設した十月二十日地鎮祭を行い、十二月完成、木造平家建二六〇平方米（七八・八坪）

⑩第二種中層耐火構造の住宅二階建六戸連続を四棟、二十四戸を建築する当初計画を変更して防火帯地内（鍛治町）に四階建併存公営住宅を建築する。工事は三十四年八月までに完成の予定。

（写真は大滝橋渡り初め）

学校公民館

① 古館小学校、片山小学校の二校を廃止するとともに上川沿小学校、桂城小学校、城南小学校の通学区域を変更して新に統合小学校を建築する問題は、九月三十日の臨時市議会で正式決定、城西小学校として通称根下戸野へ建設されることとなった。三十三年度から三カ年計画、構造鉄骨一部モルタル、建築面積五二五〇・三平方米（一五九一坪）総事業費八千五百万円余、二十一学級、一〇一四名収容の予定

②釈迦内小学校の四教室増築工事は十二月下旬完成した。

③沼館分校の老朽改築工事、建築坪数三八一・二平方米（一一五・五坪）は十一月下旬竣工した。

④桂城小学校の特別教室五教室の増築工事は二カ年継続とし、三十三年度施工分は九月末完了した。

⑤第一中学校附属建物（便所）の建築は十一月完成した。

⑥下川沿公民館、上川沿公民館は十二月着工の予定であったがこの度の事件で設計等手続きが遅れているが、年度内には施行の予定。

農業

①土地改良事業の調査設計の受託と、これに伴う指導援助を行っている。

三十三年度において現在までに実施したものは次のとおりである。

柄沢、杉沢地区の区劃整理事業調査設計八四・三ヘクタール（八五町）および同二地区の地割測量三七、六ヘクタール（三八町）を行った（現在工事実施中）

②小団地事業および新年度積寒事業の調査設計（機械揚水事業四カ所）を行った。

③新農村振興対策事業として北部地区の指定をうけ、適地適産奨励施設、農山村振興共同施設など、三カ年計画で実施することになった。

初年度である三十三年度は種籾催芽施設二、牧道新設一、特用樹植栽（栗）二、ヘクタール（二町四反）、内豚貸付施設一などを行った。

④集約酪農では乳牛四〇頭を導入、その利子補給を行ったほか、高度の集約牧野六・八ヘクタール（二七町）サイロ二八基など酪農振興施設に対する助成指導を行った。

⑤農地改革で買収売渡された土地の実績確定調査を行った

⑥農業振興計画実施の増進を図るため大館市農業委員会農業振興部会を設置した（七月）この部会には土地利用、経営経済、生活文化、畜産林業特別小委員会がおかれ、さらに生活改善、経営経済の二小委員会の下にそれぞれの普及会を設けて活動の万全を期することにした。

⑦大館市における農業に関する施策指導の連絡調整を図るため大館市農業指導連絡協議会（仮称）を市および農業関係団体で結成すべく検討を進めている。

（写真はトラクターによる集約牧野の造成）

林業

①大披外四カ所について十五四・五ヘクタール（十五町六反）を造林した。

②上太沢外二カ所について十九・三ヘクタール（十九町五反）の補植および、長根山外について五九・五ヘクタール（六〇町歩）の撫育を行った

③土地の高度利用を目的とした入会地調査は三十三年一月花矢町関係者との話合いにより、大館市、花矢町入会地整理協議会を結成、本腰を入れて調査整理に乗り出すことになった。現在まで七回に亘って協議、および現地調査を行い、台帳、地面の調整を終えたので、三十三年度中に大綱をきめ新年度で使用区分が明確にされる見通しである。

またこの問題を審議検討するためには、現在の市議会常任委員制度では不都合な面があるので特別委員会の設置が必要とされている花矢町との入会地は凡そ五九五ヘクタール（六〇〇町歩）である。

一方田代町に所存する保滝沢入会地は田代町山田、大館市松木外関係部落との話合いがまとまり近々利用区分が明確にされる見込。

新年度では隣接町村の入会地整理のほか、市内部落間の調整も進めたい。

（写真は造林風景）

部落電話電気導入

①建設計画中で主も強く要望されていた部落電話の架設は本年度予定されていた本宮、猿間、三浦の三部落にはそれぞれ設置をした

部落電話で主も困難とされていた長木奥部の架設も関係方面へ陳情の結果「地域団体加入」が許可され十二月には測量も完了、愈々今春四月に架設されることになった。団体加入の申込数は四〇件である。

②市の無電灯部落である合津別所部落には市と地元の経費負担により、十二月に電気の導入を完了した。

行事と誘致

①八月九日から十日間に亘って、三度続いた大火の復興と市制施行七周年の記念、および産業祭を合せて、盛大に大館市復興祭を開催、復興と建設意慾の向上をはかった。

（写真は復興祭行事の一コマ）

②大館市はラジオ東北の難聴地帯であるので、これが中継局の建設が強く望まれてきた

従って、これが建設方について関係方面に陳情、下川沿駅前に建設、六月十五日ラジオ東北大館放送局として開局した。

③国立秋田総合職業訓練所の誘致は秋田、能代の両市に伍して誘致に乗り出し、県北各界一丸の協力を得て、十月大館建設内定の通知を受けた。

（写真は市役所を訪れた県議会商業労働委員の一行）